

●天国への手紙 2022年7月2日分

ラジオネーム やじやじ

天国への手紙「じいちゃんとの競馬」

じいちゃん、今年も競馬の季節がやってきましたよ。

この時期に競馬場の前を通ると、子どもの頃、

じいちゃんと一緒に競馬場に行った時のことを思い出します。

もう50年近くも前。

あの頃の競馬場は、新聞を握りしめたオジサンがたくさんいる、大人の世界。

ばあちゃんはいつも「そんなところに小学生を連れて行って~~☆~~」と

怒っていたけど、じいちゃんはお構いなし(笑)。

あの頃のじいちゃんは札幌に出稼ぎに行っていて、

月に1回くらいしか函館に帰ってこなかったので、

僕も一緒にいられるのがうれしくて、いつも付いていきました。

もちろん子どもなので、競馬のことはよくわからなかったけど、

客席と馬券売り場を忙しく行ったり来たりして、

昼には食堂でラーメンやカレーを急いで食べて、

レースを見ながら一喜一憂するじいちゃんを見るのが楽しくて、

あつという間に1日が過ぎました。

1回だけ、競馬が終わった後で、家族や近くに住んでいる親戚を焼き肉に連れて行ってくれたことがあったけど、

あれはきつと「勝った日」だったんだろうね。

趣味らしい趣味を持たず、けっこうな歳になるまで

真面目に働いていたじいちゃんが唯一夢中になっていたのが競馬。

それも、1日に使う金額をちゃんと決めて、ほどほどに楽しんでいましたね。

今の僕も時々、競馬に行くけど、その時はじいちゃんと同じく、

使う金額を決めて、それ以上のお金は持って行かないことにしています。

僕はけっこう夢中になってしまいう性格なので、

競馬場でのじいちゃんの姿を見ておいて本当に良かったです。

じいちゃん、天国でも競馬を楽しんでいるかな？

天国の競馬場では、往年の名馬たちが走っているのかな。

【リクエスト】時の過ぎゆくままに／沢田研二